

第33回 HiPSIセミナー

(Hiroshima University, The Research Core for Plant Science Innovation)

「輸送体機能から考える植物の代謝物動態とその生理学的意義」

講師: 渡邊 俊介 INRAe IPSiM

日時: 2023年6月12日(月) 16:00 ~

場所: 理学部棟E209

細胞膜を介した代謝物の細胞間輸送は、その機能を時空間的に制御するために多細胞生物に備わる基礎的仕組みである。とりわけ、多様な代謝物を駆使することで環境適応を図る植物にとって、生育条件に応じて代謝物分布を最適化することは必須の生理応答といえる。しかし、どのような代謝物がどこの細胞に蓄積し、その分布がどのように形成されるのか、その理解は未だ曖昧である。私は、植物の成長生存を支える代謝物動態の一端を明らかにするために、特に生理活性を持つ代謝物にフォーカスを絞り、その輸送体の同定と生理学的役割の解明に取り組んでいる。これまでに、植物ホルモンやその前駆体物質、ストレス下で根から放出される根圏分泌物の輸送体を明らかにしてきた。本セミナーでは、これら輸送体機能を例に、選択的かつ積極的に代謝物動態を利用する植物の巧みな環境適応戦略について議論したい。

*本セミナーは統合生命科学研究科共同セミナーの対象です
お問い合わせ: 島田 裕士 (hshimada@hiroshima-u.ac.jp)